

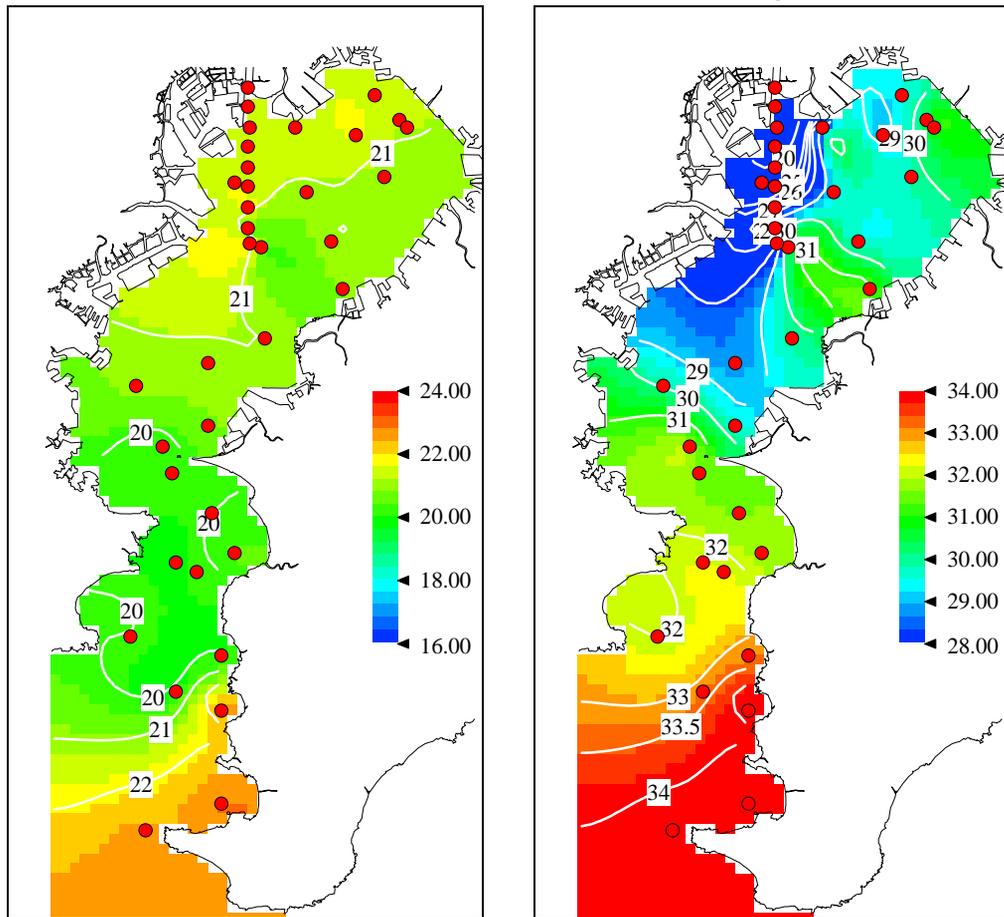
# 東京湾海況情報 14 - 06

東京湾水質調査結果(平成14年7月分)

平成14年7月5日  
 千葉県水産研究センター 富津研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

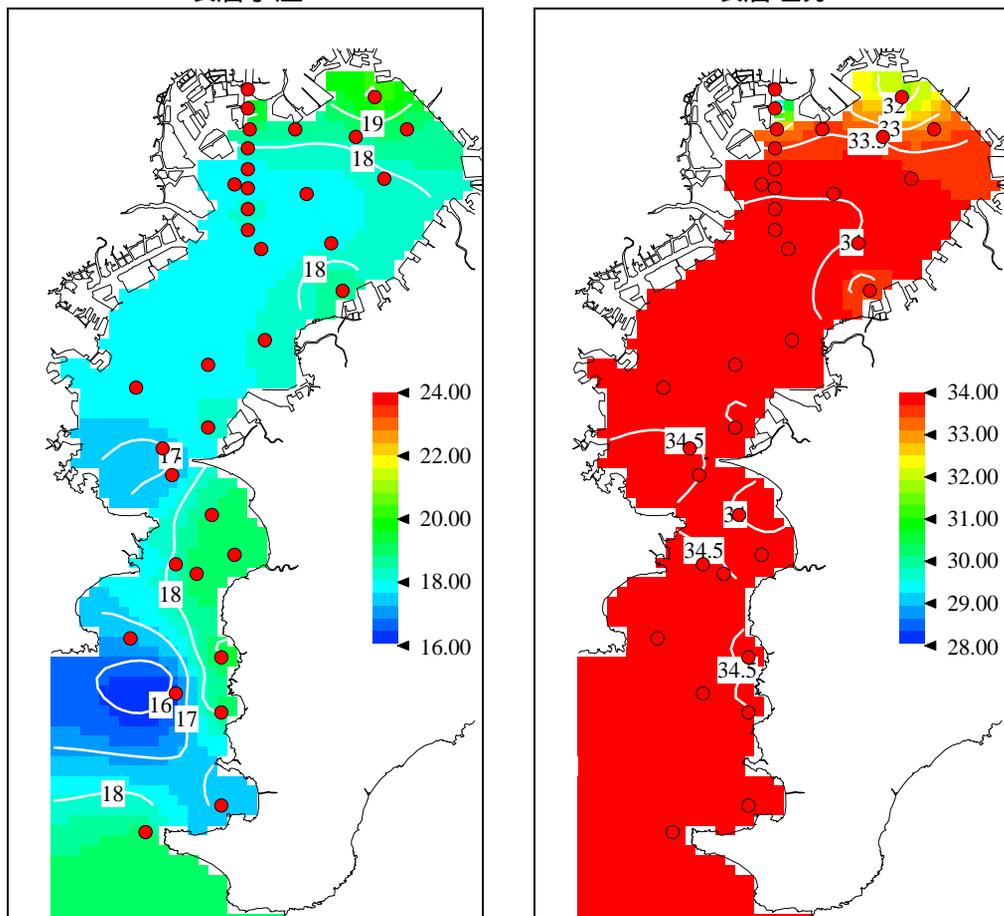
資料：水質調査 7 / 1 内房海域：第2ふさみ丸，東京内湾：わかふさ  
 神奈川県水産総合研究所・東京都環境局・千葉県環境研究センター・ふさなみ資料  
 一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

## 東京湾水質調査結果(平成14年7月分)



表層水温

表層塩分



底層(または50m)水温

底層(または50m)塩分

図1 東京湾の水温・塩分分布(表層・底層)

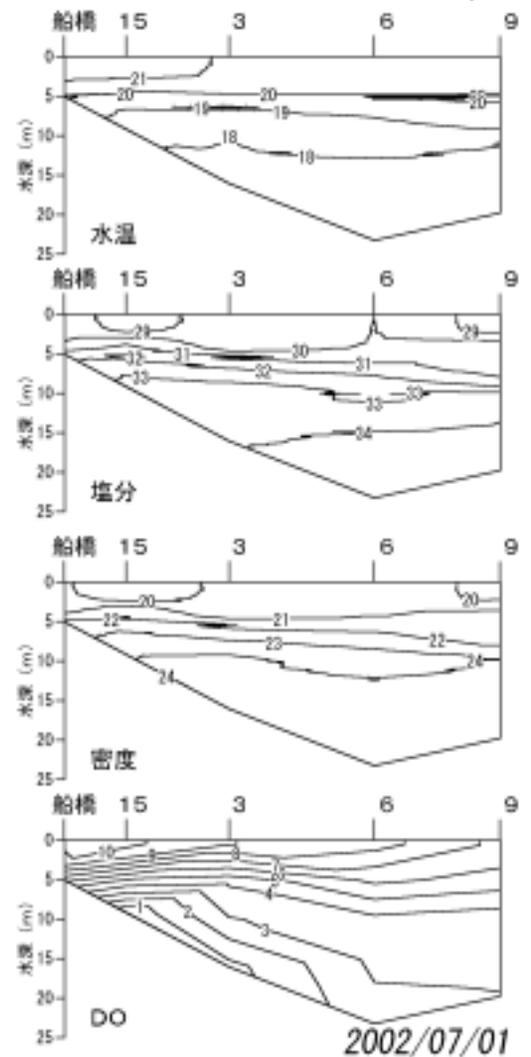


図2 内湾の鉛直分布

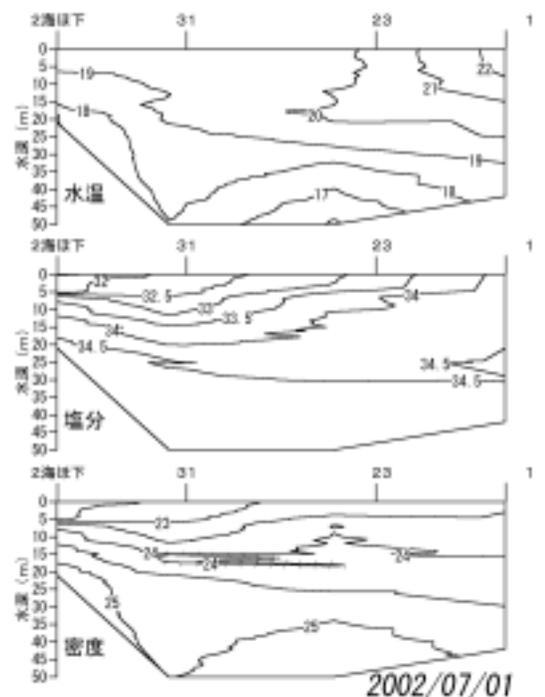


図3 内房海域の鉛直分布

6月は中旬以降、雨が多く気温の低い日が続きました（右参考図）。このことが東京湾の海況にも影響しているようです。

水温・塩分の状況（図1～3，表1）

水温は内湾で表層が19～21℃，底層が16～19℃，内房海域で表層が19～22℃，底層が15～18℃でした。表層の水温は前月よりやや低め、平年比も低めです（内湾では3～4℃）。塩分は内湾で表層が20以下～31，底層が31～34，内房海域で表層が31～34，底層が34台でした。

内湾縦断面の鉛直分布では水温17～21℃，塩分28～34でした。内房海域の鉛直分布では水温16～22℃，塩分31～34でした。

赤潮の状況（図4，5，表1）

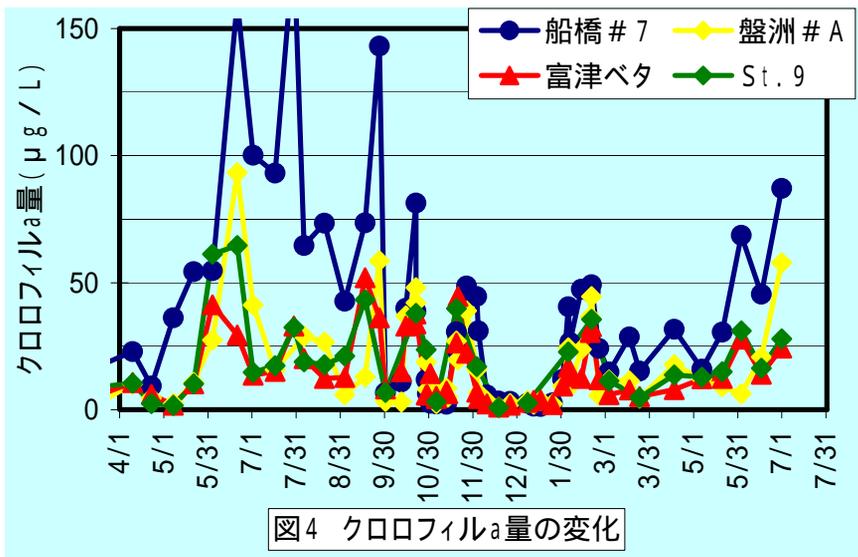
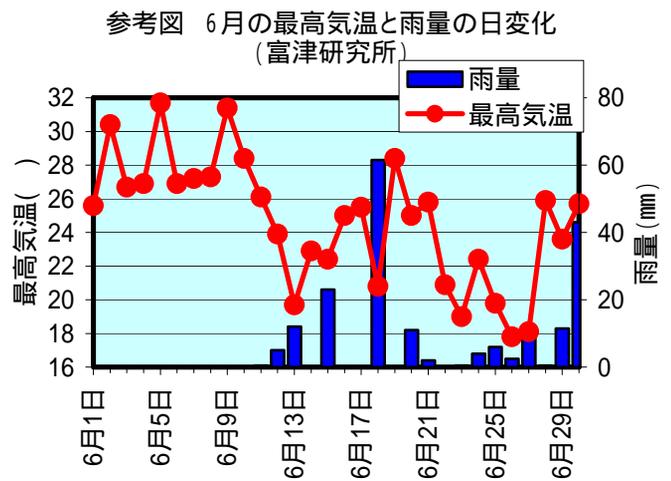


図4 クロロフィルa量の変化



参考図 6月の最高気温と雨量の日変化（富津研究所）

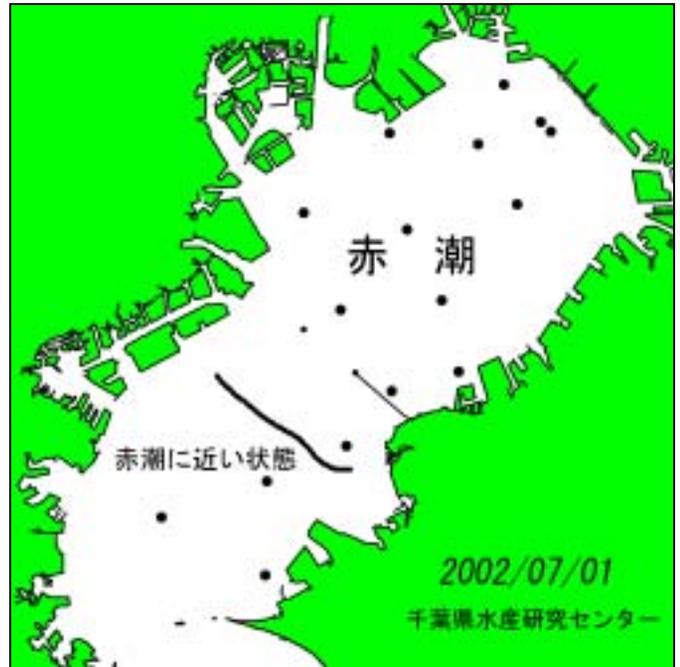


図5 赤潮の分布

内湾の北部～中央部で濃い赤潮が発生していました。南部でも赤潮に近い状態です。また内房北部海域でも赤潮に近い状態であるようです。養殖場近くまで広がると被害がでる恐れがあります。注意してください。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は20～80 µg/L台でした（主要点8点）。

主なプランクトンは渦鞭毛藻のプロロケントラム（*Prorocentrum sp.*）です。

千葉県赤潮の目安...色:オリーブ～褐色，溶存酸素の飽和度：150%以上，透明度：1.5m以下，pH：8.5以上，クロロフィルa量：50 µg/L以上

東京湾情報ボックス

- 7月1日 13:58に京葉シーバース北側でスナメリ1頭発見（水質調査移動中わかふさにて）

情報は水産研究センター富津研究所までお願いいたします

0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

表1. 主な調査点の水質調査結果（表層）

調査年月日：平成14年7月1日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	クロロフィルa量 (µg/L)
船橋	1.3 (1.2)	21.4 (25.3)	29.30 (25.31)	8.8 (8.6)	6.3 (3.3)				87
St. 15	1.5 (1.5)	21.5 (25.4)	28.71 (25.73)	8.9 (8.7)	0.2 (2.2)				67
st. 3	1.6 (1.6)	20.9 (25.3)	29.25 (26.82)	8.8 (8.7)	0.7 (1.4)				54
St. 6	1.8 (1.7)	20.5 (24.9)	30.00 (27.23)	8.6 (8.6)	2.6 (1.5)				54
St. 9	2.0 (2.3)	20.9 (23.9)	28.47 (29.96)	8.5 (8.5)	2.9 (3.3)				28
盤洲Cパイ	1.9 (2.2)	20.6 (24.4)	31.40 (28.52)	8.5 (8.5)	3.0 (2.6)				48
St. 8	1.5 (2.3)	21.0 (23.7)	29.61 (30.01)	8.7 (8.5)	2.9 (2.2)				58
富津ベタ	2.2 (2.5)	20.6 (23.5)	29.17 (31.84)	8.2 (8.5)	3.7 (3.7)				24
第2海ほ下	3.0 (3.5)	19.9 (22.9)	31.35 (31.11)	8.3 (8.4)					44
st. 31	3.5 (4.1)	19.6 (22.7)	32.12 (31.31)	8.4 (8.4)					36
st. 23	5.5 (8.2)	19.6 (22.9)	32.90 (32.56)	8.2 (8.4)					16
st. 1	17.0 (9.3)	22.4 (22.2)	34.14 (33.80)	8.1 (8.2)					1
St. 10 (下洲沖)	3.5 (3.5)	19.9 (23.0)	31.45 (31.27)	8.3 (8.4)					
St. 12 (湊沖)	3.0 (3.5)	20.2 (23.1)	31.72 (31.43)	8.5 (8.4)					
St. 22 (保田沖)	4.5 (6.5)	19.9 (23.5)	33.12 (32.58)	8.3 (8.4)					
St. 24 (富浦沖)	13.0 (7.0)	22.6 (23.5)	34.22 (32.77)	8.3 (8.3)					
St. 26 (館山湾内)	13.0 (7.9)	22.8 (23.0)	34.28 (33.48)	8.2 (8.3)					

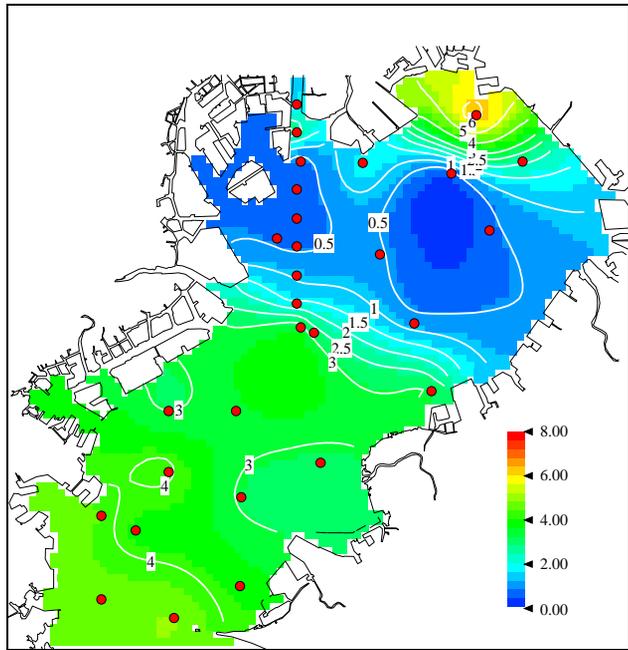
分析機器故障のため分析できませんでした。

( ) : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去2年分) 透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

貧酸素水塊の状況 (図2, 6, 表1)

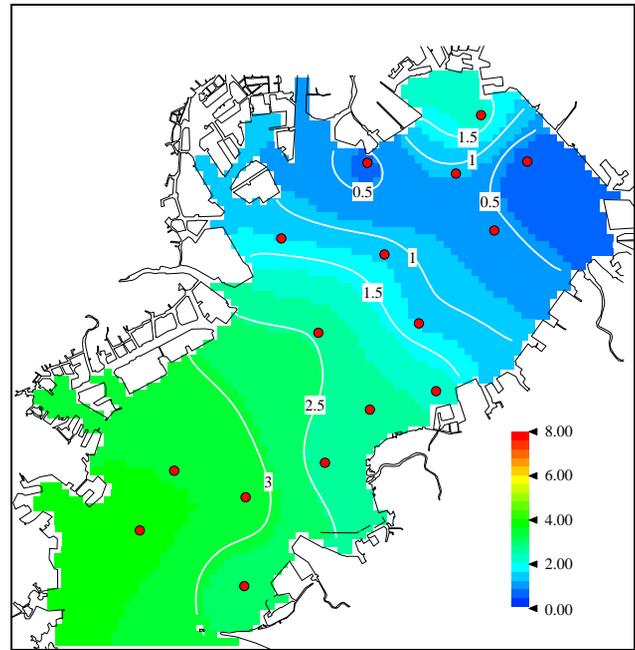
底層の溶存酸素量は  $0 \sim 4 \text{ ml/L}$  で  $2.5 \text{ ml/L}$  以下の貧酸素水塊は内湾の北部に分布しています。貧酸素水塊の規模は先週・先々週に比べ縮小している模様です。

ただし内湾の広い範囲で濃い赤潮が発生していることから、天候次第では貧酸素水塊は拡大していくものと予想されます。水産研究センターでは  $2.5 \text{ ml/L}$  (酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。



7月1日

(含む東京都環境局・神奈川水総研データ)



6月25日

(内湾底びき網連絡協議会データ)

図6 底層の溶存酸素量分布 ( $\text{ml/L}$ )

表層の栄養塩類

分析機器故障のため今回は分析できませんでした。

黒潮の動き (図7)

一都三県漁海況速報によると黒潮は三宅島付近を北東に進んでいるため、東京湾口部への影響は少ないと思われます。

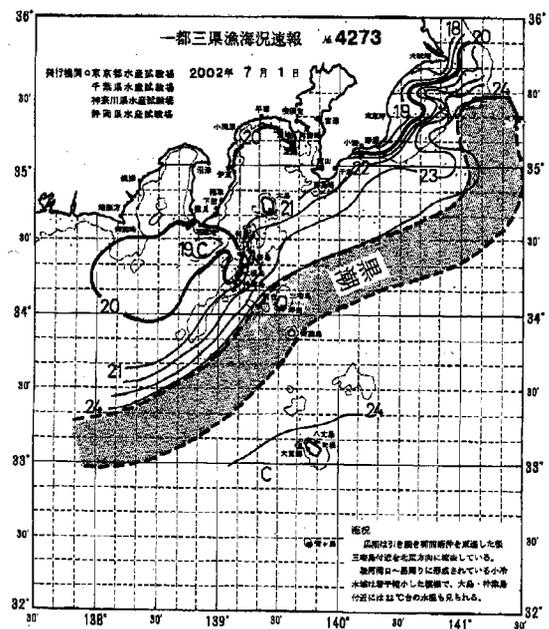
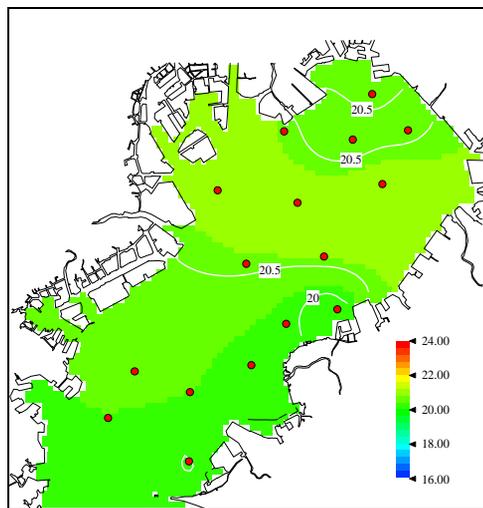
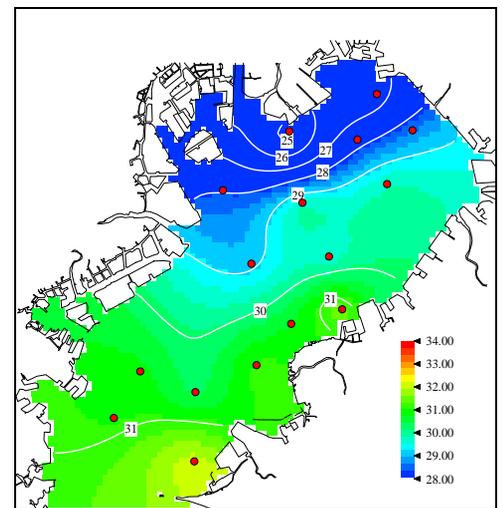


図7 黒潮の動き

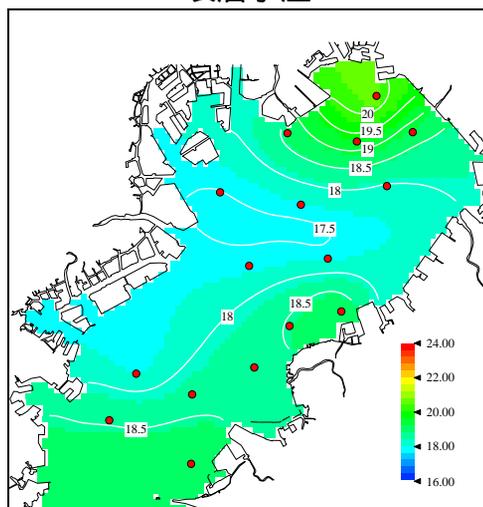
(一都三県漁海況速報7月1日分)



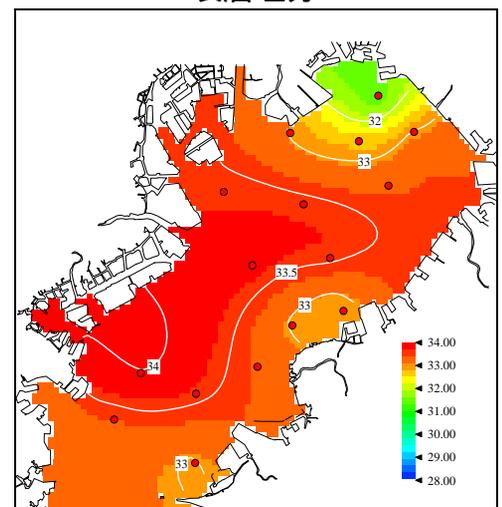
表層水温



表層塩分



底層水温



底層塩分

参考 内湾底びきによる調査結果 (6月25日分)